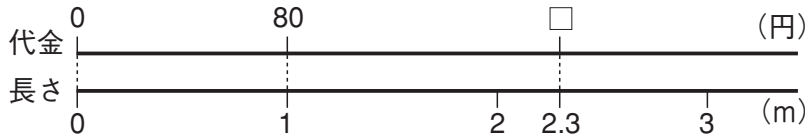




◆整数 × 小数の計算

1m のねだんが 80 円のリボンがあります。
このリボン 2.3m の代金は何円でしょうか。

① リボン 2.3m の代金は、どんな式で求められるでしょうか。



リボンの長さが 2m なら
80×2 の式になるね。



式

② リボンの長さが 23m の場合をもとにして、リボン 2.3m の代金を求めましょう。

・リボンの長さが 2.3m の 倍の 23m になると、代金も 倍になります。

整数どうしの 80×23 なら
答えが求められるけど…。

2.3m の代金	1m のねだん	×	リボンの長さ	=	?
	80		2.3		
			↓ 10 倍		↓ 10 倍
23m の代金	80	×	23	=	



		8	0
	×	2	3

・リボン 2.3m の代金は、23m の代金の です。

整数どうしの計算にする
ために倍にした分だけ
わってやればいんだね。

$$\begin{array}{l}
 80 \times 2.3 = (80 \times 23) \div 10 \\
 \begin{array}{cc}
 \hline
 2.3\text{m の代金} & 23\text{m の代金} \\
 \hline
 \end{array} \\
 = \quad \boxed{} \quad \text{答え} \quad \boxed{}
 \end{array}$$



0.1m の代金を 80÷10 で求めて、
それを 23 倍するしかたもあるよ。

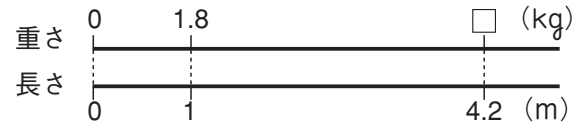


◆小数 × 小数の計算

1m の重さが 1.8kg のパイプがあります。
このパイプ 4.2m の重さは何 kg でしょうか。

① 4.2m の重さは、どんな式で求められるでしょうか。

式



② 計算のしかたを考えましょう。

・かけられる数とかける数をそれぞれ 10 倍すると、
(10×10) 倍で、積は 倍になります。

$$1.8 \times 4.2 = \text{?}$$

↓ 10倍
↓ 10倍
↓ 倍

$$18 \times 42 = \text{?}$$

・1.8×4.2 の積は、18×42 の積を で
われば求められます。

$$1.8 \times 4.2 = 18 \times 42 \div \text{?}$$

$$= \text{?}$$

答え

整数どうしの 18×42 なら
答えが求められるけど…。



	1	8
×	4	2

整数どうしの計算にする
ために倍にした分だけ
わってやればいいんだね。



③ 1.8×4.2 の筆算のしかたを考えましょう。

・1.8×4.2 の筆算は、18×42 の筆算をして、かけられる数とかける数を
倍にした分だけ積をわります。

1.8 10倍 →	18
× 10倍 →	×
4.2		42
36		36
72		72
<input type="text"/> $\frac{1}{100}$ ←	756

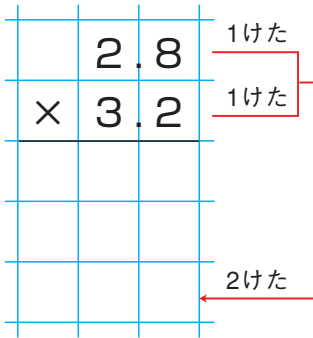
756 を $\frac{1}{100}$ にすると
位が 2 けた下がるね。



5年	名	
	組前	

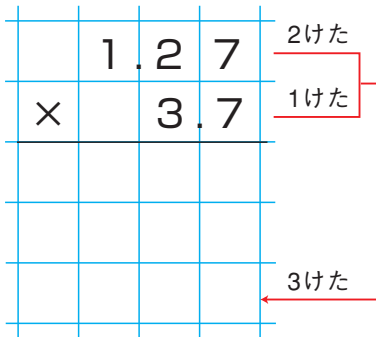
◆小数のかけ算の筆算

① 2.8×3.2



- ① 整数どうしのかけ算にするために、かけられる数を10倍する。〈^{くらい}位を1けた上げる〉
- ② かける数も10倍する。〈^{くらい}位を1けた上げる〉
- ③ (10×10)倍したので、^{せき}積を100でわる。〈^{くらい}位を2けた下げる〉

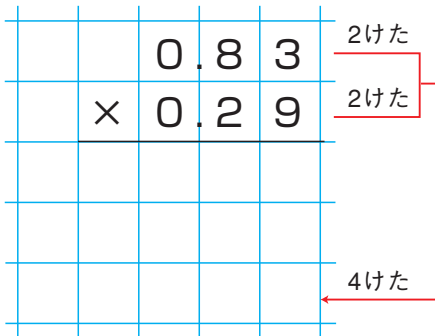
② 1.27×3.7



整数 × 整数の筆算と同じように計算して、^{せき}積の^{いち}小数点をうつ位置に気をつければいいね。



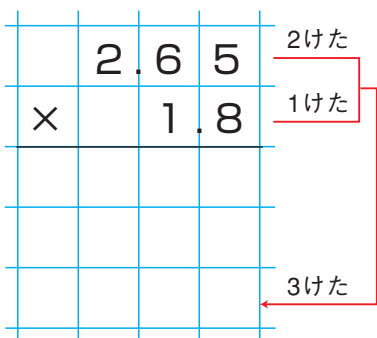
③ 0.83×0.29



^{せき}積の^{せき}小数点は、^{せき}積の^{いち}小数部分のけた数が、かけられる数とかける数の^{いち}小数部分のけた数の和になるようにうつよ。



④ 2.65×1.8



^{せき}積の下の^{くらい}位が0になるとき、^{いち}小数点をうつ位置をまちがえないように気をつけよう。

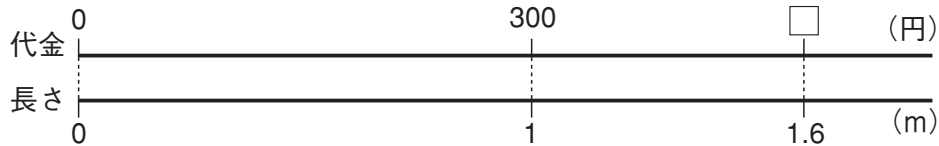




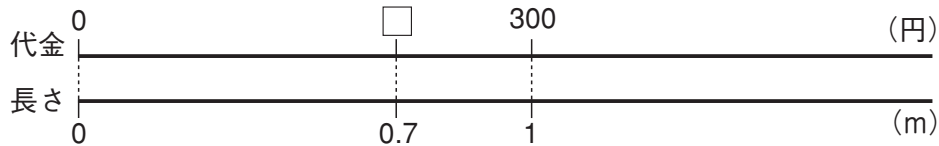
◆積の大きさ

1m のねだんが 300 円のリボンがあります。このリボン 1.6m の代金と 0.7m の代金を求めて、1m のねだんと比べましょう。

① それぞれの代金を求めて、 にあてはまる不等号を書きましょう。



1.6m の代金 300×1.6 300



0.7m の代金 300×0.7 300

② かけ算では、1 より小さい数をかけると、積はかけられる数より になります。



かけられる数より積が小さくなるのはどれでしょうか。

- Ⓐ 340×2.4 Ⓘ 2.5×1.7 Ⓢ 8.6×0.3 Ⓝ 0.17×1.8
 Ⓑ 5.14×6.2 Ⓚ 8.37×1.46 Ⓣ 2.5×7.91 Ⓖ 0.04×0.5

答え